

摂食嚥下リハビリテーションにおける 電気刺激療法導入の考え方

2025年3月22日 (土) 15:50-16:40
第13回 日本言語聴覚士協会 九州地区学術集会

鹿児島大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門
言語聴覚士 有馬 春香 先生

セミナーの目的

- 嚥下リハビリテーションを行う際、電気刺激療法を併用する機会が増えてきています
- 一方、言語聴覚士（ST）は学生時代に物理療法を学ぶ機会は多くないため、**機器の選択**や、**設定**については自主学習が求められています
- これから摂食嚥下リハに電気刺激療法を導入したいと考えているSTにとって、何を**基準**に、**どのような点に配慮する**必要があるのか、一緒に考える機会を設けたいと考えています

key point

- **飲み込む過程**の中で、**何の**、**どこ**を改善したい？
- それを改善するためには、機器は**何を選択**する？
- どのような**条件設定**にすると、その目的が達成される？
- 電気刺激だけすれば、嚥下障害は良くなるの？

目の前にいる「あなた」の笑顔がみたい！

少しでも良くする方法を、一緒に考えてみませんか？

